



グリーンボンドファクトシート

よりグリーンでよりサステナブルな未来のための投資

IFCのグリーンボンド： サステナブルなインパクトの推進

グリーンボンドは、低炭素経済への移行を加速させることを目標に、環境にプラスの影響を与える持続可能で気候変動に配慮したプロジェクトへの資金提供に寄与します。グリーンボンド発行は、IFCの資金調達戦略の不可欠な部分です。IFCグリーンボンドは、資金調達プログラム全体と統合的な優先無担保債務として発行されます。

2010年、IFCは、気候変動の緩和と適応のための民間セクター適格プロジェクトへの投資を促進するため、グリーンボンド・プログラムを立ち上げました。このプログラムは、再生可能エネルギー、クリーンな輸送、エネルギー効率、廃棄物管理等、様々な分野で持続可能で社会的責任のあるプロジェクトを支援しています。

2013年、IFCは初の米ドル建てベンチマーク・グリーンボンドを発行し、グリーンボンドの大型発行の前例を作り、グリーンに対する大きな需要があることを証明しました。

2023年1月、IFCはグリーンボンドの枠組みを拡大し、生物多様性、海洋・水の新たなカテゴリー、より強固な気候適応選択プロセス、気候変動緩和に関するカテゴリーの追加を適格分野として追加しました。改訂された枠組みは、国際資本市場協会 (ICMA)の**グリーンボンド原則**に沿っており、S&P Shades of Green (旧CICERO) からミディアムグリーン (カバナンススコアはエクセレント) の評価を得ています。

2010年度から2024年度にかけて、IFCは139億ドルを調達



グリーンボンドの資金使途

グリーンボンドによる調達資金は、以下の環境目標の少なくとも1つに資するカテゴリーのグリーンプロジェクトに充てられます。



気候変動の緩和



気候変動の緩和



生物多様性の保全



海洋・水資源の保全

IFCについて

世界銀行グループの一員であるIFCは、新興市場の民間セクターに特化した世界最大規模の開発機関です。途上国で市場と機会を創出するため、IFCは持てる資金、知見そして影響力を活かし、世界100カ国以上で活動しています。居住可能な地球において貧困のない世界の実現に向け、民間セクターによる解決策の活用や民間資金の動員に取り組み、2024年度、IFCは途上国の民間企業と金融機関に対し過去最高となる560億ドルの投融資を承認しました。

IFCの2024年度発行実績



全体評価としてのミディアムグリーンは、ダークグリーン又はミディアムグリーンと認められる十分な数のプロジェクト、IFCのカバナンス (スコアはエクセレント)、プロジェクト選択プロセスにおける基準と非適格プロジェクトを除外する際の保守的なアプローチ、一般的なプロジェクトのみならず、革新的又は過小評価されているグリーンプロジェクトカテゴリーを支援するという取り組みに基づくものである。

IFCグリーンボンドに対するセカンドオピニオン
[Cicero / S&P Shades of Green, December 2022.](#)



プロジェクト除外リスト

グリーンボンドによるファイナンスの対象外となるプロジェクトには、以下に関連するプロジェクトが含まれます。

- 化石燃料の採掘、生産、流通プロジェクト
- 化石燃料を中核エネルギーとして利用するプロジェクト
- 炭素集約型活動プロジェクト
- 化石燃料を部分的に燃焼させるプロジェクト
- 炭素強度（Carbon Intensity）が50gCO₂eq/kWhを超える電力プロジェクト
- 水力発電及び家畜関連プロジェクト

IFCの完全な除外リストについては、[ifc.org](https://www.ifc.org)をご参照ください。

開示・報告

IFCは、グリーンボンドの調達資金の対象となるプロジェクトのリストを、グリーン及びソーシャルボンドのインパクトレポートを通じて毎年公表しています。このリストには、プロジェクトの概要説明、資金提供額、予想される環境への影響、及び関連する公開文書へのリンクが含まれています。

私たちの提供する価値

- 世界銀行グループの一員であるIFCの使命は、居住可能な地球上における、①極度の貧困の撲滅及び②繁栄の共有の促進です。
- IFCは、開発途上国の民間セクターへの投資を通じて、持続可能な成長を促します。
- IFCは、60年以上に亘って、新興市場における経済成長と発展を支援するために、資本市場における資金を動員してきました。
- IFCは、経済・金融の不確実性が高まる中、景気循環に対抗する（カウンターシクリカルな）役割も果たしています。
- また、IFCは、再生可能エネルギー、農業、健康、教育、金融市場など、幅広いセクターで開発途上国にアドバイザーサービスを提供しています。

AAA格付を有するIFCの強み

- 株主は186カ国の加盟国政府であり、資本金の50%以上をAAA/AA格の国々が出資
- 設立（1956年）以降の着実な利益の計上による内部留保の蓄積により、強固な資本基盤を確立
- 非常に保守的な流動性カバレッジ比率(LCR)及びレバレッジ比率を備えた実質的な流動性バッファを有する
- グローバルな資本市場において多様な投資家へのアクセスを有する
- 世界118カ国、2,000社以上の企業に投融資を行い、高度に分散されたポートフォリオを有する
- 1989年の最初の格付取得以来、S&P及びムーディーズより一貫してAAA/Aaaの格付評価を維持
- バーゼル規制の下でIFCのリスクウェイトは0%

この文書は、IFCが発行する債券の購入を提案・推奨するものではありません。

Photo credit: Shutterstock/ShutterstockDesigner

IFC財務部門の連絡先

資金調達グローバルヘッド

Flora Chao | fchao@ifc.org

ワシントンD.C.

Yuri Kuroki
Head of Funding - Americas
ykuroki@ifc.org

Zauresh Kezheneva
Financial Officer
zkezheneva@ifc.org

ワシントンD.C.

Investor Relations
Ayelet Perlstein
Head of Investor Relations
aperlstein@ifc.org

Obert Limbani
Associate Financial Officer
olimbani@ifc.org

Marsha Monteiro
Financial Analyst
mmonteiro@ifc.org

ロンドン

Elena Panomarenko
Head of Funding - Europe
epanomarenko@ifc.org

Roland Maassen
Associate Financial Officer
rmaassen@ifc.org

Investor Relations

Laura Stirling
Digital and Communication
Coordinator
lstirling@ifc.org

シンガポール

Marcin Bill
Head of Funding - Asia
mbill@ifc.org

Hiroyasu Hirano
Financial Officer
hhirano@ifc.org

東京

Investor Relations
安井 豊
Senior Financial Officer
yyasui@ifc.org